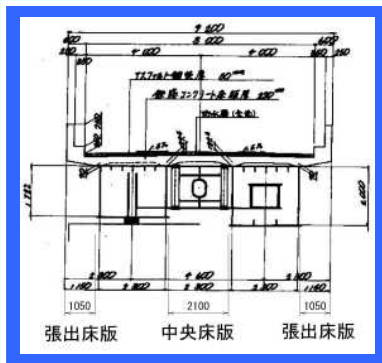


# デジカメを活用した構造物診断 (土木構造物の事例紹介)

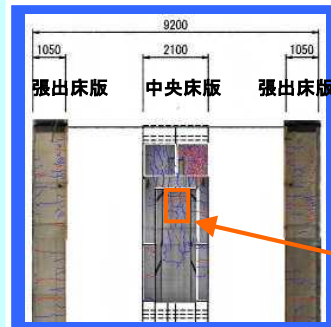
## ◆ 橋梁 (上部工) ◆

橋梁一般図



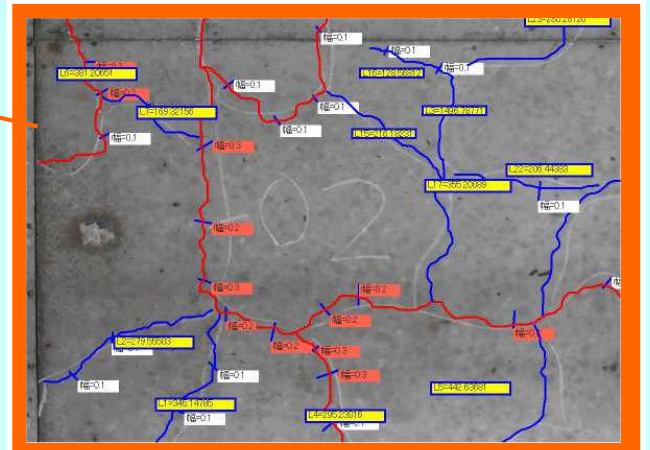
④ トレース画像合成

集合写真・連続図作成



③ 画像による診断  
(クラック測定・クラックトレース)

クラック、シミ等を診断しトレースする



① デジカメ撮影

斜め撮影で可



② 画像正射影変換

正面から撮影した画像に変換し座標を持たせる



(中央床版)

## ◆ 橋梁 (下部工) ◆

① デジカメ撮影

斜め撮影で可



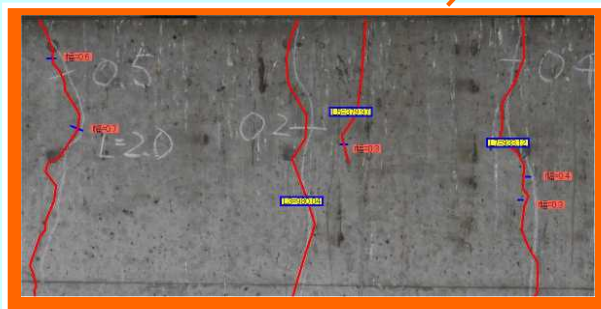
② 画像正射影変換

正面から撮影した画像に変換し座標を持たせる



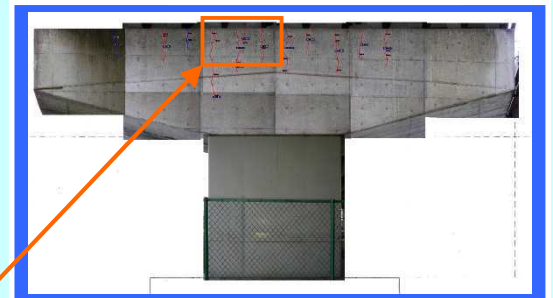
③ 画像による診断  
(クラック測定・クラックトレース)

クラック、シミ等を診断しトレースする



④ トレース画像合成

集合写真作成



### 画像処理技術を活用した診断の特徴

- ・ 画像データで記録、保存・・・経年劣化の対比が容易  
複人数での診断が可能
- ・ 現地作業が軽減・・・目視可能で近接困難な部分で効果発揮
- ・ 仮設費用が低減・・・足場仮設・高所作業車が不要